

「図書館の分類に関する調査（2023）」集計結果の詳細（館種別内訳等）＜設問ごと＞

日本図書館協会分類委員会

【B】分類法の適用について

B(1) 分類法を使用しているか（すべての資料に対してでなくてよい）。1つ選択。[必須]

	公共図書館											大学図書館														
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計		
1 配架・検索に使用	52	100.0%	1,578	99.4%	410	95.8%	4	57.1%	20	62.5%	2,064	98.0%	178	96.7%	65	100.0%	396	97.5%	26	100.0%	45	100.0%	13	100.0%	723	97.8%
2 配架のみに使用			6	0.4%	11	2.6%	3	42.9%	5	15.6%	25	1.2%	5	2.7%			6	1.5%							11	1.5%
3 検索のみに使用			2	0.1%	2	0.5%			1	3.1%	5	0.2%					1	0.2%							1	0.1%
4 使用していない			1	0.1%	5	1.2%			6	18.8%	12	0.6%	1	0.5%			3	0.7%							4	0.5%
回答館数	52		1,587		428		7		32		2,106		184		65		406		26		45		13		739	

B(2-1) 分類法を使用している場合、新規受入の和図書に対して適用している分類法について、いずれか主なほうを選択。

	公共図書館											大学図書館														
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計		
1 NDC	52	100.0%	1,560	98.9%	419	99.3%	6	85.7%	26	96.3%	2,063	98.9%	144	79.1%	62	95.4%	362	89.8%	26	100.0%	45	100.0%	6	46.2%	645	87.9%
2 NDC以外			17	1.1%	3	0.7%	1	14.3%	1	3.7%	22	1.1%	38	20.9%	3	4.6%	41	10.2%					7	53.8%	89	12.1%
回答館数	52		1,577		422		7		27		2,085		182		65		403		26		45		13		734	

(無回答※)

(9)

(1)

(10)

(1)

(1)

※B(1)の回答が1, 2, 3で無回答

(集計表B(2-1)付表) 「2 NDC以外」の回答内容

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
DDC (デューイ十進分類法)							2		1				3
NDLC (国立国会図書館分類表)			1			1	3					1	4
NLMC (米国国立医学図書館分類法)							15	1	22				38
UDC (国際十進分類法)							3		3			2	8
日本看護協会看護学図書分類表								2	3				5
仏書共通分類表									1				1
独自分類		14	2	1		17	14		11			4	29
独自分類 (指定管理者による)		2				2							
ライフスタイル分類		1				1							

大まかなジャンル別					1	1							
和図書非収集							1						1

B(2-2) 前問B(2-1)で新規受入の和図書の分類法として「1 NDC」を選択した場合、適用しているNDCの版について、主なものを1つ選択。

	公共図書館										大学図書館															
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計		国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計	
新訂10版	29	55.8%	1,011	64.3%	259	62.4%	5	83.3%	13	54.2%	1,317	63.7%	64	43.8%	22	35.5%	160	43.8%	9	34.6%	17	37.8%	3	50.0%	275	42.3%
新訂9版	16	30.8%	512	32.6%	124	29.9%			3	12.5%	655	31.7%	58	39.7%	24	38.7%	130	35.6%	10	38.5%	15	33.3%	3	50.0%	240	36.9%
新訂8版	4	7.7%	15	1.0%	5	1.2%			2	8.3%	26	1.3%	10	6.8%	14	22.6%	41	11.2%	2	7.7%	5	11.1%			72	11.1%
新訂7版			7	0.4%			1	16.7%			8	0.4%	5	3.4%			14	3.8%	1	3.8%	1	2.2%			21	3.2%
新訂6版											0	0.0%	2	1.4%			1	0.3%							3	0.5%
版を決めていない			18	1.1%	24	5.8%			6	25.0%	48	2.3%	4	2.7%	1	1.6%	11	3.0%	1	3.8%	5	11.1%			22	3.4%
その他	3	5.8%	9	0.6%	3	0.7%					15	0.7%	3	2.1%	1	1.6%	8	2.2%	3	11.5%	2	4.4%			17	2.6%
回答館数	52		1,572		415		6		24		2,069		146		62		365		26		45		6		650	

(無回答※)

(4)

(2)

(6)

(0)

※B(2-1)の回答が1で無回答

(集計表B(2-2)付表)「その他」の回答内容

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
10版+9版			3			3			1	2	1	1	5
10版+9版(自館付与分)			1	1		2							
10版(自館付与分)+9版				1		1							
10版(情報分野)+9版			2			2				1			1
10版+9版+8版			1	1		2	1						1
10版+9版8版(継続もの)	1					1							
10版9版(社会福祉・医学)+8版										1			1
10版+8版										1	1		2
10版+8版(児童書)+6版(郷土資料)	1					1							
10版+8版(点字・手話)			1			1							
9版+8版(文学)			1			1							
9版+8版+7版										1			1
9版+6-A版	1					1							
6-A版							1						1
NACSIS-CAT準拠											1		1
できるだけ新しい版												1	1
不詳							1		2				3

B(2-3) 分類法を使用している場合、新規受入の洋図書に対して適用している分類法について、主なものを1つ選択。

NDLC：国立国会図書館分類表、DDC：デューイ十進分類法、LCC：米国議会図書館分類法、UDC：国際十進分類法

	公共図書館											大学図書館														
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計		
1 NDC	51	98.1%	1,364	86.4%	307	73.4%	5	71.4%	18	64.3%	1,745	83.7%	138	76.2%	58	89.2%	330	83.1%	21	80.8%	45	100.0%	5	38.5%	597	82.1%
2 NDLC			6	0.4%	8	1.9%			1	3.6%	15	0.7%	3	1.7%			1	0.3%	1	3.8%					5	0.7%
3 DDC	1	1.9%									1	0.1%	6	3.3%	2	3.1%	24	6.0%	1	3.8%			1	7.7%	34	4.7%
4 LCC											0	0.0%	1	0.6%	2	3.1%	5	1.3%					1	7.7%	9	1.2%
5 UDC											0	0.0%	2	1.1%	1	1.5%	3	0.8%					2	15.4%	8	1.1%
6 洋書は収集せず			149	9.4%	97	23.2%	2	28.6%	9	32.1%	257	12.3%	1	0.6%			1	0.3%	2	7.7%					4	0.6%
7 その他			60	3.8%	6	1.4%					66	3.2%	30	16.6%	2	3.1%	33	8.3%	1	3.8%			4	30.8%	70	9.6%
回答館数	52		1,579		418		7		28		2,084		181		65		397		26		45		13		727	

(無回答※)

(7)

(6)

(13)

(2)

(6)

(8)

※B(1)の回答が1, 2, 3で無回答

(集計表B(2-3)付表) 「7 その他」の回答内容

	公共図書館						大学図書館							
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計	
NACSIS-CAT準拠												1		1
NDCをカスタマイズ		1	1			2								
NLMC							15	1	19				35	
NLMC+NDC									1				1	
UDC							1						1	
日本看護協会看護学図書分類表								1	2				3	
独自分類		46	2			48	12		11				4	27
独自分類 (ポルトガル語資料) +NDC			1			1								
独自分類 (書架分類) +NDC (書誌分類)		1				1								
独自分類+NDC							1						1	
独自分類+NDC (児童書)		1				1								
独自分類 (指定管理者による)		1				1								
ライフスタイル分類		1				1								
他館の書誌を参考		1				1								
別置記号を付与		1	1			2								

分類なし		6	1			7	1							1
分類なし+NDC		1				1								

B(2-4) 前問B(2-3)で新規受入の洋図書の分類法として「1 NDC」を選択した場合、適用しているNDCの版について、主なものを1つ選択。

	公共図書館										大学図書館															
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計		
新訂10版	28	54.9%	903	65.6%	192	61.1%	4	80.0%	9	47.4%	1,136	64.4%	62	43.7%	21	36.2%	145	43.4%	7	33.3%	16	35.6%	3	60.0%	254	42.0%
新訂9版	17	33.3%	430	31.3%	98	31.2%			3	15.8%	548	31.0%	57	40.1%	24	41.4%	121	36.2%	10	47.6%	16	35.6%	2	40.0%	230	38.0%
新訂8版	4	7.8%	14	1.0%	7	2.2%			1	5.3%	26	1.5%	10	7.0%	11	19.0%	38	11.4%	1	4.8%	4	8.9%			64	10.6%
新訂7版			7	0.5%			1	20.0%			8	0.5%	5	3.5%			11	3.3%	1	4.8%	1	2.2%			18	3.0%
新訂6版											0	0.0%	2	1.4%			1	0.3%							3	0.5%
版を決めていない			16	1.2%	14	4.5%			6	31.6%	36	2.0%	3	2.1%	1	1.7%	12	3.6%	1	4.8%	6	13.3%			23	3.8%
その他	2	3.9%	6	0.4%	3	1.0%					11	0.6%	3	2.1%	1	1.7%	6	1.8%	1	4.8%	2	4.4%			13	2.1%
回答館数	51		1,376		314		5		19		1,765		142		58		334		21		45		5		605	

(無回答※)

(3)

(3)

(1)

(1)

※B(2-3)の回答が1で無回答

(集計表B(2-4)付表) 「その他」の回答内容

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
10版(自館付与分)+9版			1			1							
10版(情報分野)+9版									1				1
10版+7版		1				1							
10版+8版									1	1			2
10版+9版								1	1			1	3
10版+9版(自館付与分)		1				1							
10版+9版+8版			1			1	1	1					1
10版+9版8版(継続もの)	1					1							
9版+8版+7版									1				1
6-A版	1					1	1	1					1
受入時最新の版		1				1							
できるだけ新しい版												1	1
不詳		3	1			4	1		2				3

B(2-5) B(2-1)・B(2-3)で選択した分類法以外に、併用している分類法（例：OPACで検索に使用，資料種によって使用等）。複数選択可。

（複数回答の組み合わせ別回答館数は別表1を参照。）

	公共図書館						大学図書館																			
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計		国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計	
1 NDC			100	11.8%	37	30.6%	1	25.0%	3	50.0%	141	13.8%	24	29.6%	3	16.7%	42	34.4%			3	23.1%	2	50.0%	74	30.1%
2 NDLC			11	1.3%	5	4.1%			1	16.7%	17	1.7%	20	24.7%	2	11.1%	21	17.2%	1	12.5%	6	46.2%			50	20.3%
3 DDC			1	0.1%							1	0.1%	20	24.7%			24	19.7%			5	38.5%			49	19.9%
4 LCC											0	0.0%	23	28.4%	1	5.6%	27	22.1%			3	23.1%			54	22.0%
5 UDC											0	0.0%	14	17.3%			8	6.6%			1	7.7%			23	9.3%
6 特になし	7	16.7%	401	47.4%	57	47.1%			2	33.3%	467	45.8%	9	11.1%	4	22.2%	9	7.4%	2	25.0%	4	30.8%			28	11.4%
7 その他	35	83.3%	343	40.5%	26	21.5%	3	75.0%			407	39.9%	51	63.0%	10	55.6%	60	49.2%	5	62.5%	5	38.5%	2	50.0%	133	54.1%
回答館数	42		846		121		4		6		1,019		81		18		122		8		13		4		246	
(無回答※)	(10)		(740)		(302)		(3)		(20)		(1,075)		(102)		(47)		(281)		(18)		(32)		(9)		(489)	

※B(1)の回答が1, 2, 3で無回答

(集計表B(2-5)付表①) 「7 その他」の回答内容 (注) 複数の事項が記載された場合、それぞれの項目に計上

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
Classification tables for music and musical literature									1				1
DDC												1	1
DDC-Sachgruppen									3			1	4
LCC												1	1
NDC7版・10版									1				1
NLMC									10			3	13
Sachgruppen der Deutschen Bibliothek Frankfurt am Main									3			2	5
TRC音楽分類表	1	49	1			51							
ジャンル	1	3				4							
レコード分類表[高橋重臣案]及びAVM分類表	1					1							
音楽図書・楽譜分類表									2				2
漢籍分類							4						4
教科書標準分類法							1						1
金光教文献分類				1		1							
県内複数館で利用の郷土資料分類	13	105	14	1		133	1					1	2

五部分類									1				1
四部分類							1		4				5
社会福祉関係図書・資料標準福祉分類表									1				1
受入順番号											1		1
出版社の分類									1				1
書誌に使用されている分類		8				8	12	1			1		14
著者名による分類							1						1
統計分類表							1						1
独自分類（分野別内訳は「集計表B(2-5)付表②」を参照）	27	243	12	1		283	36	3	32	4		3	78
独自分類（指定管理者による）		2				2							
日本看護協会看護学図書分類表							1	6	8				15
仏教図書共通分類表				1		1			3				3
別置記号			1			1							

(集計表B(2-5)付表②) 「独自分類」を使用している分野

	公共図書館					計	大学図書館						計	
	県立等	市区立	町村立	私立	その他		国立	公立	私立	短大	高専	その他		
キリスト教									1					1
コミック		2				2								
ラウンジ・ブラウジング図書									3					3
英語多読資料									1					1
家政		1				1								
絵本									2	1				3
楽譜							2		2					4
看護学									1					1
貴重図書													1	1
教育学・心理学								1						1
教科書	1					1	4						1	5
郷土資料	15	130	9			154	3							3
古文書・絵図	1					1								
公文書	1					1								
行政資料		6				6								

雑誌		3			3						
視聴覚資料	1	36	2		39			1	1		2
歯科学								1			1
児童書	1	23			24						
社史	1				1						
情報分野		2			2	1					1
新書									1		1
闘病記		1			1						
特殊コレクション	1	1			2	5		2			7
非図書資料								1			1
仏教								1			1
明治10年以前の資料	1				1						
薬学						1					1
洋図書	2	1			3						
和古書								1			1

B(3-1) B(2-2)・B(2-4)で、新規受入の和図書および（または）洋図書にNDC新訂10版を適用と回答した場合、旧版からの切り替えにあたって行ったこと。複数選択可。

- 1 ラベルの貼り替え
- 2 配架位置の調整（サイン等を含む）
- 3 遡及的な分類データの変換
- 4 遡及的な分類データの追加
- 5 分類の適用規定類の検討・作成
- 6 特になし
- 7 その他

（複数回答の組み合わせ別回答館数は別表1を参照。）

	公共図書館						大学図書館						計													
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計			国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計
1 ラベル貼替	13	56.5%	447	67.8%	63	57.8%	2	66.7%	6	85.7%	531	66.3%	8	42.1%	1	20.0%	38	50.7%	1	25.0%	6	75.0%	1	100.0%	55	49.1%
2 配架調整	11	47.8%	407	61.8%	51	46.8%	1	33.3%	3	42.9%	473	59.1%	4	21.1%	1	20.0%	30	40.0%	1	25.0%	4	50.0%			40	35.7%
3 遡及変換	11	47.8%	345	52.4%	44	40.4%	1	33.3%	4	57.1%	405	50.6%	13	68.4%	1	20.0%	34	45.3%	1	25.0%	3	37.5%	1	100.0%	53	47.3%
4 遡及追加	10	43.5%	184	27.9%	19	17.4%			1	14.3%	214	26.7%	3	15.8%			17	22.7%	1	25.0%	1	12.5%			22	19.6%
5 規定見直し	12	52.2%	142	21.5%	6	5.5%					160	20.0%	1	5.3%			28	37.3%			2	25.0%			31	27.7%
6 特になし	1	4.3%	139	21.1%	38	34.9%	1	33.3%			179	22.3%	4	21.1%	2	40.0%	15	20.0%	2	50.0%					23	20.5%
7 その他	8	34.8%	54	8.2%	6	5.5%			1	14.3%	69	8.6%	5	26.3%	4	80.0%	18	24.0%	1	25.0%	2	25.0%			30	26.8%
回答館数	23		659		109		3		7		801		19		5		75		4		8		1		112	
(無回答※)	(8)		(369)		(162)		(2)		(6)		(547)		(46)		(18)		(88)		(6)		(14)		(2)		(174)	

※B(2-2) またはB(2-4) の回答が「新訂10版」で無回答

(集計表B(3-1)付表①) 「7 その他」の回答内容 (注) 複数の事項が記載された場合、それぞれの項目に計上

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
10版を適用しない分野の設定		4				4		1					1
MARCのタイプ変更		1				1							
MARCの遡及データ登録	1	2				3							
NDC以外の分類表の併用を廃止									1				1
システム改修	2	2				4			1				1
マニュアル修正	1					1							
ラベルデザイン変更	1					1			1				1
移行について職員で検討		1				1							
開館時より10版			2			2		2	1				3

桁数拡大		9				9	1						1
今後作業予定		2	1			3			1				1
作業委託		2			1	3							
書誌データの整備		1				1							
請求記号の仕様策定		3				3							
遡及作業は順次			1			1							
遡及作業対象を限定（「集計表B(3-1)付表②」を参照）	3	19	2			24	3	1	8	1			13
遡及変換せず	1	3				4			1				1
不詳		5				5	1		3		2		6
分類データ変更		5				5							
利用案内による周知									3				3

(集計表B(3-1)付表②) 遡及作業対象を限定した図書館の遡及作業対象分野（回答に明記されているもののみ）

	公共図書館					大学図書館							
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
10版削除項目							3		1				4
開架資料		2				2		1					1
継続受入資料	2	7				9			3				3
高利用頻度		1				1							
手話		2				2							

B(3-2) 新訂10版への切り替え（使用を開始した）時期。

	公共図書館										大学図書館															
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計		
2015年	2	6.5%	87	9.0%	31	13.2%			1	10.0%	121	9.7%	21	30.9%	7	31.8%	38	23.5%	5	62.5%	9	42.9%			80	28.2%
2016年			27	2.8%	8	3.4%	1	20.0%	1	10.0%	37	3.0%	2	2.9%	3	13.6%	13	8.0%			3	14.3%	1	33.3%	22	7.7%
2017年	5	16.1%	290	29.8%	71	30.3%					366	29.2%	7	10.3%			15	9.3%			1	4.8%			23	8.1%
2018年	5	16.1%	128	13.2%	16	6.8%			1	10.0%	150	12.0%	7	10.3%	1	4.5%	16	9.9%	1	12.5%					25	8.8%
2019年	3	9.7%	116	11.9%	30	12.8%			2	20.0%	151	12.1%	13	19.1%	3	13.6%	18	11.1%			3	14.3%			37	13.0%
2020年	5	16.1%	169	17.4%	38	16.2%	3	60.0%	2	20.0%	217	17.3%	7	10.3%	1	4.5%	17	10.5%			1	4.8%			26	9.2%
2021年	6	19.4%	89	9.2%	24	10.3%	1	20.0%			120	9.6%	4	5.9%	2	9.1%	12	7.4%	1	12.5%	2	9.5%	1	33.3%	22	7.7%
2022年	2	6.5%	33	3.4%	13	5.6%			2	20.0%	50	4.0%	2	2.9%	4	18.2%	18	11.1%	1	12.5%	2	9.5%	1	33.3%	28	9.9%
2023年	3	9.7%	33	3.4%	3	1.3%			1	10.0%	40	3.2%	5	7.4%	1	4.5%	15	9.3%							21	7.4%
回答館数	31		972		234		5		10		1,252		68		22		162		8		21		3		284	

(無回答※)

(59)

(31)

(4)

(94)

(1)

(2)

(11)

(1)

(15)

※B(2-2) またはB(2-4) の回答が「新訂10版」で無回答

B(3-3) 分類の版の切り替えを行った際の問題点、切り替えを行わない理由等。（自由記入）

① NDC10版適用館による回答（注）複数の事項が記載された場合、それぞれの項目に計上

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
10版で細分化された分野は書架に案内を掲示									1				1
10版で登録したものにはNDCの版を記載									1				1
10版で変更された項目にどう対応するかを検討が必要		5	2			7		1					1
10版と9版の間に大きな違いがない									1				1
10版と旧版の資料が混在	2	73	4			79	6		5				11
10版の手話・点字の分類変更は利便性に問題			1			1							
10版を適用していない分野がある		3				3							
10版を適用していない分野がある（4類の統合された主題）									1				1
10版を適用していない分野がある（910.2作品論）		1				1							
10版を適用していない分野がある（医学）								1					1
10版を適用していない分野がある（所蔵の多い分野）								1		1			2
10版を適用していない分野がある（点字・手話）		3				3							

10版を適用していない分野がある（独自に展開している分野）								1					1
10版を適用していない分野がある（利用の多い分野）		1							1				
10版以前のNDCもわかるようシステムの設定を変更		1							1				
10版収録のMARCが提供されたため切替			1						1				
10版収録のMARCが提供されるまでに時間がかかった		1							1				
8版から10版への切替は変更箇所が多い		1	1						2				
8版対応時のデータがずれて表示される		4							4				
MARCデータ変更に伴い10版を適用			1						1				
MARCの更新データ登録により書誌上の分類が空白になってしまうことがある		1							1				
システムが9版対応	1	1							2				
システムとMARCの連携作業が煩雑		2							2				
システム運用を外部委託しているため詳細不明			1						1				
システム更新が必要	1	1							2				
システム更新に合わせて切替		20	2						22				
システム更新に時間を要した		13							13				
システム対応、費用、作業量が不安		1							1				
データ移行がうまくいかないものがあった		2	2						4				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などが困難		12							12				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などが煩雑		1							1				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などが必要										2			2
データ修正、ラベル貼替、配架調整などが必要なものの洗い出しが困難		2	1						3				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などが必要なものの洗い出しが必要		1							1				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などせず淘汰に任せているものがある		5							5				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などにより分類が統一化された		10							10				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などに時間・負担がかかる		21	3			1			25		4		4
データ修正、ラベル貼替、配架調整などの実施時期の検討に時間を要した		1							1				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などの処理ミスが心配		5							5				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などは開架資料に限定	1	9	1						11	2	1		3
データ修正、ラベル貼替、配架調整などは行わない	2	6	5						13	9	1	1	11
データ修正、ラベル貼替、配架調整などは新館移転時に行う		1							1				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などは対象を限定		5							5				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などをどこまで行うかの検討が必要		1							1				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などを検討										2			2

看護分野での不適切言語の使用を避けたい									1			1
既存のデータとの整合性が課題			1			1					1	1
既存資料の状態は未点検			1			1						
規定の改訂に時間を要した		12				12						
規定の検討が必要		3				3						
業務が煩雑化する	1		1			2						
継続受入資料には旧版を適用	1					1	1		2		1	4
継続受入資料の配架が分かれる	2	2				4			2			2
継続受入資料の分類は変更		1				1						
継続受入資料の分類をどうするか									3			3
検索結果に漏れが生じる		5				5						
採用桁数を見直し	1	3	1			5			1			1
作業スペースの確保が必要		1				1						
作業療法の分類がなく困る									1			1
手話と一般的なことばとは分けて配架		1				1						
受託当初より10版を使用								1	1			2
所蔵資料の見直しができていない			1			1						
書架の並びが変わってしまう								1				1
新館移転に合わせて切替		1	1			2						
新主題がどの分類に該当するか判断に迷うことがある		1				1						
人員・時間・予算の確保が必要		1				1						
人員が不足している		1	1			2						
正誤表の確認に時間を要する									1			1
請求記号のみ変更し書誌のNDCは変更しなかった		1				1						
請求記号の再設定に際して連番の図書記号の採番管理に困難が生じた							1					1
切替が必要なほどの冊数がない		1				1						
切替に対応できていない分野もある		1				1						
切替のタイミングを見計らっている		1				1						
切替は徐々に行う		5	1			6			1	1		2
切替を各分館のペースで行ったため、複本の分類に不一致が生じた		1				1						
切替完了まで2つの版を併用									1			1
切替後間もないため問題点が上がっていない									1			1
切替作業が必要と思わなかった			1			1						

10版を参考に分類付与している資料もある		1	1			2			2			2
11版以降で切替を予定		1				1						
492.9（看護学）の桁数が増え使いにくい								1				1
8版から9版への切替が不完全なため10版への切替が困難		4				4						
8版を使用しているがNIIに8版がない場合は10版または9版を使用									1		1	2
9版（8版，7版）で支障がない	2	10	7		1	20	3	2	6		1	12
9版に切替した際の精度に問題がある									1			1
9版の継続性を保つため切替を行わない							2					2
9版への切替から10年余りのため10版への切替は行わない	1					1						
NDCで分類している資料が少ない							1					1
システムが9版対応		2	1			3						
システム更新が必要		3				3						
システム更新に合わせて切替		25				25						
システム更新の予定がない		1				1						
システム対応に費用がかかる		10				10						
システム対応のための休館が必要		10				10						
データ修正，ラベル貼替，配架調整などが困難	1	16	3			20			6	1	2	9
データ修正，ラベル貼替，配架調整などが必要									2			2
データ修正，ラベル貼替，配架調整などが必要なものの洗い出しが困難											1	1
データ修正，ラベル貼替，配架調整などに時間・負担がかかる		4				4			4			4
データ修正，ラベル貼替，配架調整などの方針が未確定		1				1	1		2			3
データ修正，ラベル貼替，配架調整などを市内各図書館で統一に行うことが困難		1				1						
データ修正，ラベル貼替が困難									1		2	3
データ修正，ラベル貼替が必要		2				2						
データ修正，ラベル貼替に時間・負担がかかる											1	1
データ修正，配架調整が必要		1				1						
データ修正が困難			1			1						
データ修正が煩雑		2				2						
ラベル貼替，配架調整が困難		9	4			13	2				1	3
ラベル貼替，配架調整に時間・負担がかかる		1				1						
ラベル貼替が困難		19	1			20						
ラベル貼替が困難（研究室の資料）											1	1
ラベル貼替が煩雑			1			1						

ラベル貼替が必要			1			1			2				2
委託仕様の変更が必要			1			1							
委託先の切替のタイミングによる		1				1							
委託先業者が切替をしていない		5				5							
引継がなく詳細不明									1				1
絵本と児童書中心のため切替は行わない					1	1							
外部データに従っているため安易に切替をしない			1			1							
業務が煩雑化する		1				1							
業務の負担増となるため切替は行わない								1					1
継続受入資料の配架が分かれる	1					1							
継続受入資料の分類をどうするか									1				1
検索結果に漏れが生じる	1	5				6							
混乱を避けたい									1				1
時間やコストがかかるため切替を行わない								1					1
自治体、教育委員会の方針が未確定または未確認		2	2			4							
受入時期により使用する版が異なる									1				1
従来分類を基本としている			1			1							
新館移転に合わせて切替			1			1		1					1
人員が不足している		5	3			8	2		1				3
整理ができていないため既に所蔵している資料の変更ができない		1				1							
切替が困難			1			1				1			1
切替のタイミングがなかった			1			1							
切替のタイミングを見計らっている	1	1				2	1		1				2
切替のタイミングを逃した									1				1
切替の必要性、緊急性、メリットがない	1	6	3			10		1	6		1		8
切替は徐々に行う		1				1			1				1
切替を検討中、検討予定		7	1			8	1		3		1		5
切替を行うまたは検討する余裕、時間がない		9	3			12			3		1		4
切替を予定している		5				5			1				1
切替作業量が膨大		4				4							
長期保存されない資料や別置資料は分類の版にこだわらない											1		1
統計に影響が出る		5				5							
同一主題の資料の配架が分かれる		17		1		18	2		3				5

特になし		6	3			9	2		2				4
独自に展開している項目がある		2				2			1				1
配架調整が困難			1			1							
配架調整に時間・負担がかかる									1				1
配架方法の決定が困難		1				1							
複数の版が適用されているが特に支障はない									1				1
本館の方針による							1						1
利用者の便宜上切替を行わず、7版に新しい言葉を追加し対応							1						1